

(別紙2)

現行ナースコールシステムと更新電話設備に係る特記仕様

1. 既存設備の継続利用および連動性について

新システム（主装置等）への移行後も、下記の既存機器および回線が継続して利用・連動できることを条件とする。

① ナースコール関連機器

- (1) デジタル埋込型インターホンB3（型式：NYC-DWMINTB3）：48 台
- (2) 電池レス・ワイヤレス呼出ボタンA（型式：NYC-WLSWA）：65 台
- (3) 廊下灯 P-LIGHT：48 台

② PHS 端末・アンテナ関連

- (1) 日立 D9PS コードレス電話機：3 台
(※ナースコール発報・通話ができる設定・連動を含む)
- (2) PHS コードレスアンテナ：HI-D3(ID) 1 台、HI-D3(ND) 5 台

③ 電話回線接続

既存の電話回線（お仕事ピカラ / BRI / 9CH 13 番号）へ正常に接続・設定ができること。

2. 総合保守および障害対応について

システムの安定稼働のため、以下の保守体制および条件を満たすこと。

① 窓口の一本化と対象範囲

ナースコール、主装置、一般電話機、PHS コードレス電話機、既存端末を含むすべての関連機器について、故障時の窓口を一本化して対応できること。

② 訪問対応費用

リース期間中における訪問対応費用は、無償対応であること。

③ 回線関連トラブルへの対応

電話回線（ONUやVoIP機器等）の障害発生時にも、迅速に対応が可能であること。

④ 緊急時の対応スピード

利用者の安全確保に直結する緊急の故障については、原則として当日中に駆けつけ対応が可能であること。